

# タイ生産性向上プロジェクト 長期調査報告書

1993年10月

国際協力事業団

ICA  
122  
60  
MIT  
BRARY

鉦開協
JR
93-11



JICA LIBRARY



1116855(6)

国際協力事業団

26994

## 序 文

タイ国では、1992年10月から第7次5か年計画を実施している。この計画の目的の一つとして、生産性向上に関する人的資源開発及び経済発展成果の公正な分配が挙げられている。

タイ国は1962年に国際労働機関（ILO）と協力して、タイ工業省工業振興局（DIP）の下にタイ経営開發生産性センター（TMDPC）を設立し、経営開発と生産性向上の促進に努めてきた。

しかし、タイ国が発展していくに従って多様化・複雑化する産業界の中で、人的資源を開発し、経済発展成果を配分し、国内資源を開発することは、TMDPCの施設・人材では困難になってきている。

そこでタイ国政府は、生産性向上活動の実施機関を強化し、タイ国において生産性概念を普及するための技術協力を日本側に要請してきた。

これに対し日本側は、1993年3月、タイ国の要請内容及び実施体制を詳細に調査し、技術協力の妥当性について協議するために事前調査団を派遣した。さらに、その調査結果を踏まえ、今年度中に派遣が予定されている実施協議調査団の円滑なR/D締結を目的とし、1993年8月11日から24日まで長期調査員を派遣した。

本報告書は、その調査結果をとりまとめたものである。ここに、本調査員派遣にご協力いただいた日・タイ両国の関係各位に対し深甚なる謝意を表する次第である。

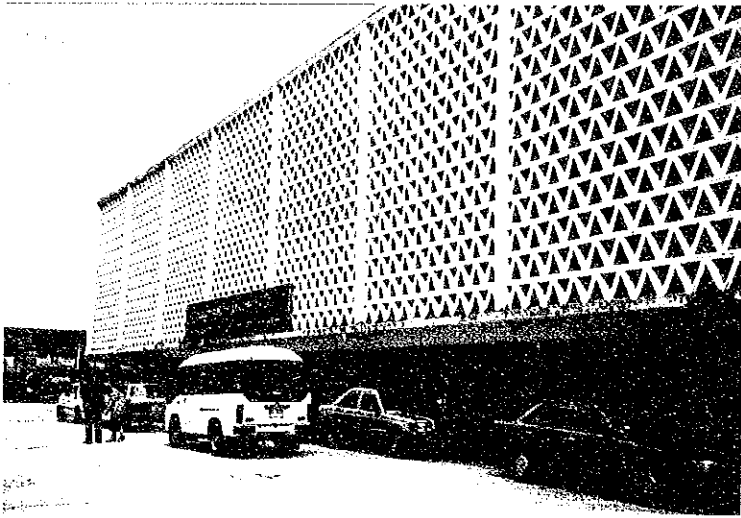
1993年10月

国際協力事業団

鉱工業開発協力部長

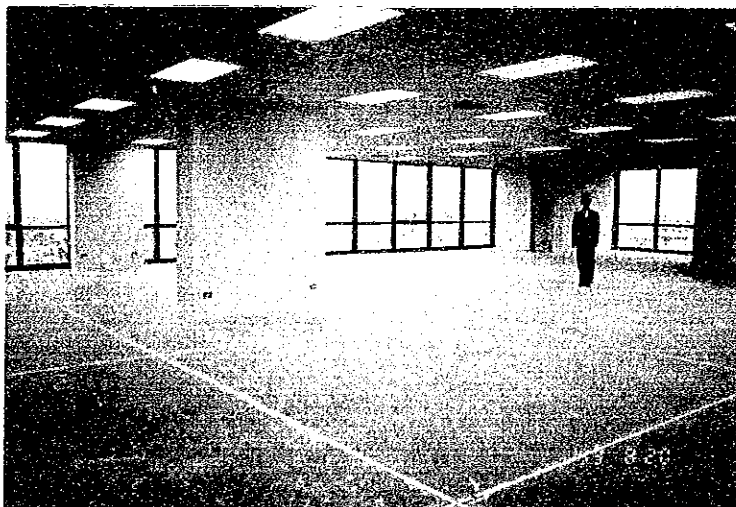
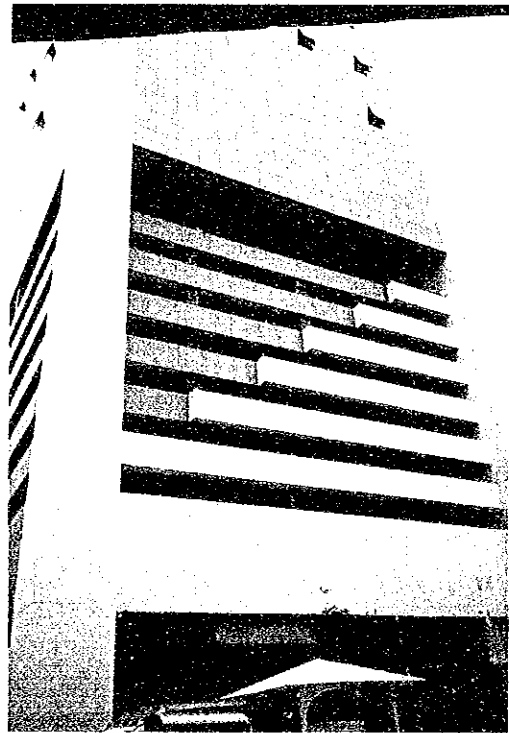
柿 沼 宇 佐





◀ タイ経営開発センター (TMDPC) ビル。  
この建物と、隣接する工業振興局 (DIP) の  
ビルを取り壊し新ビルを建設する予定

▶ 仮ビルとなる Boongpong Tower。  
新ビル完成までは、このビルの 16 階の  
一部と 24 階のセミナー室を使用する  
予定



◀ Boongpong Tower 16 階。  
このスペースをプロジェクトで  
使用予定





# 目 次

序 文  
写 真

I. 長期調査員の派遣 .....	1
1. 派遣の経緯 .....	1
2. 派遣の目的 .....	1
3. 団員構成 .....	1
4. 調査日程 .....	2
5. 主要面談者 .....	3
II. 調査結果の要約 .....	4
III. 調査・協議結果の概要 .....	5
1. タイ側実施体制 .....	5
2. 日本側実施体制 .....	6
3. 技術移転内容 .....	7
4. 実施協議調査団の派遣 .....	7
5. そ の 他 .....	7
(添付資料)	
1. ミニッツ .....	9
2. 仮ビル (BOONPONG TOWER) 関連資料 .....	45
(1) 地 図 .....	46
(2) フロア見取図 .....	47
(3) PRICE LIST .....	48



# I. 長期調査員の派遣

## 1. 派遣の経緯

タイ国政府は、1991年10月から第7次5か年計画（1992年～1996年）を実施中で、適正水準の経済成長率の維持、地方への所得と経済発展成果の配分及び人的資源、生活の質、環境、自然資源の開発の一層の推進を目的としている。

その一環としてタイ国政府は、1962年に生産性並びに経営開発の推進を目的に工業省工業振興局の下に設立された「タイ経営開發生産性センター」(TMDPC)の機能を強化し、タイ国全土に生産性概念を普及するため、生産性向上のための技術協力を日本側に要請してきた。

この要請を受けて、我が国政府は国際協力事業団(JICA)を通じて1993年3月に事前調査団を派遣し、要請内容の確認、実施体制の調査、技術協力の妥当性、協力の規模等を調査した。

## 2. 派遣の目的

本調査員は、事前調査団の調査結果を踏まえ、幾つかの懸案事項の協議並びに今年度中に派遣が予定されている実施協議調査団の円滑なR/D締結を目的として実施されたものである。

## 3. 団員構成

氏名	担当	所属
小崎 俊彦	団長	財団法人 日本生産性本部参与
岩切 俊一	研修協力計画	通商産業省通商政策局技術協力課
安達 道	機材供与計画	財団法人 日本生産性本部海外技術協力部専任課長

#### 4. 調査日程

日順	月日	曜	行 程	調 査 内 容
1	8/11	水	成 田→バンコク 11:00 16:30	岩切団員移動 (TG641)
2	8/12	木		JICA 事務所打合せ、専門家との打合せ
3	8/13	金		研修員受入れについて関係機関と協議
4	8/14	土		研修員受入れについて関係機関と協議
5	8/15	日		資料整理
6	8/16	月		研修員受入れについて関係機関と協議 小崎団長・安達団員合流 (TG641)
7	8/17	火		JICA 事務所打合せ、DTEC 表敬、専門家との打合せ
8	8/18	水		TMDPC 視察、調査・協議、専門家との打合せ
9	8/19	木		調査・協議
10	8/20	金		調査・協議
11	8/21	土		調査・協議 岩切団員帰国 (TG641)
12	8/22	日		調査・協議、M/D 案作成
13	8/23	月		M/D 署名、JICA 事務所に報告
14	8/24	火	バンコク→成 田 11:00 19:00	移動 (TG641)

## 5. 主要面談者

### (1) タイ側

#### ① Ministry of Industry(MOI)

Mr.Kiaticchai Shaishowarat Deputy Minister of Industry, Member of the  
Parliament

Dr.Bhichit Rattakul Advisor to the Minister of Industry

#### ② Department of Technical and Economic Cooperation(DTEC)

Mr.Nipon Sirivat Chief, Japan Sub-Division, External Coop.  
Division 1

Mr.Tomikazu Inagaki JICA Expert, Technical Cooperation  
Coordination

#### ③ Department of Industrial Promotion(DIP)

Mr.Manas Sooksmarn Director-General

Mr.Thamnu Vasinonta Deputy Director-General

Mrs.Uraiwan Chandrayu Chief, Foreign Relations Sub-Division

#### ④ Thailand Management Development and Productivity Center(TMDPC)

Mr.Satit Sirirangkamanont Director

Mrs.Manussawee Dhadasih Chief, Productivity Promotion Sub-Division

Mr.Wichai Intiang Chief, Business Management Sub-Division

Miss Rattana Samanchat Chief, Administration Sub-Division

Mrs.Nongpan Chayaniyodhin Chief, APO Section

### (2) 日本側

#### ① JICAタイ事務所

表 伸一郎 所長

石渡 徳久 所員

#### ② JICA個別派遣専門家

土谷 和夫 指導科目：生産性向上コンサルティング

## Ⅱ. 調査結果の要約

今回の調査では、プロジェクト実施機関が別組織となる可能性に伴う調査・確認事項、及びタイ側よりの長期専門家と研修員受入れの増加要請が協議の中心事項となった。

別組織の具体的内容、特に組織・構成（カウンターパート）については、その内容は不確定要素が多い。しかし、TMDPCの下部組織としてのプロジェクト実施機関の組織構成、建物・施設の確保、予算措置内容を確認することができた。

また、長期専門家と研修員受入れの増加要請に対しては、その増加要請の裏付けとなるだけの技術移転分野、カウンターパートの体制が今回の調査時点では整っていなかった。したがって、R/D締結までに引き続き、慎重に、その要請内容を検討する必要がある。

プロジェクト実施機関が発展的に別組織になるにしても、タイ側も既に理解しているプロジェクトタイプの技術協力の範囲において、長期専門家と研修員受入れの増加の必要性が必ずしもあるとは言えない。

供与機材については、長期専門家が中心となり新ビル移転後の供与分を更に吟味し、協力分野ごとの適切な供与を行う必要がある。

実施協議調査団の派遣時期は、タイ側より、11月に受け入れたい、との要望が出されており、前述の専門家、研修員受入れの増加問題及び機材供与計画等を再検討のうえ、先方要望に沿った時期に派遣する予定である。

### Ⅲ. 調査・協議結果の概要

#### 1. タイ側実施体制

##### (1) 組織構成

プロジェクト協力期間中にプロジェクト実施機関が別組織となる可能性を調査した結果、工業副大臣を委員長とする工業省内の特別委員会（諮問委員会）が7月30日に開催され、プロジェクト実施機関はDIPより独立したMOI直轄の実施機関となる可能性がある旨、説明を受けた。組織、人員配置計画等については、現在、工業省内で折衝中であり、9月30日までに工業省の承認を受け、その後閣議に提出され、10月中にも閣議の承認を受ける予定であることが確認された。

このMOI直轄の実施機関が閣議で承認されることになれば、国家予算より拠出される10億バーツを基金とする、本年3月の事前調査団の報告書に明記されているA11.3の実施機関が、非営利団体として本プロジェクトの実施機関となることが予定されている。

調査員は、上記委員会が作成した本実施機関の詳細な内容をタイ側に要求したが、閣議の承認を受けるまでは非公開である旨の説明を受け、その内容を説明した資料を取りつけることはできなかった。調査員は、タイ側に対して閣議の承認を受け次第、早急に資料を日本側へ送付するよう伝え、タイ側はこれを了承した。

タイ側の説明によれば、年8%の利息及び事業収入により本組織は運営されることとなる。また、初年度及び2年度の本組織の予算規模はおおよそ3千万バーツが予定されている旨、説明を受けた。ただし、上記委員会の要求では10億バーツの基金を初年度より手当てするよう要求しているが、タイ側の財政上、多年度にわたり手当てされる可能性もある。

上記とは別に、プロジェクト実施機関がTMDPCの場合の予算要求も既になされている。調査員は来年度以降の予算計画を取りつけ、ミニッツに記載した。

この新組織の人員は当初50名を予定しており、その後、徐々に人員を増やし、最終的には100名以上となる予定である。

上記を踏まえながら、調査員は、実施機関の変更により本プロジェクト実施に支障がないよう、タイ側に伝えた。

##### (2) 建物及び施設の確保

調査員は、新ビル建設計画の現状及び今後の予定をタイ側より聴取した。タイ側の説明によれば、新ビル建設予定地は現在のDIPビル的一部分であり、それを取り壊わし、新ビルを建設予定である。このDIP新ビルの中にTMDPCが入ることになる。現在DIPと

TMDPCの使用しているビルの取り壊しは10月からを予定している。

新ビルは、現段階では建設着工後600日後に完成予定であり、プロジェクト実施機関は、このビルの5階の2,000㎡全てを使用の予定である。

調査員は、新ビル完成までの仮ビルとなるBOONPONG TOWERを視察し、技術移転に支障を来さない十分なスペースが確保されていることを確認しミニッツに記載した。DIPは、この24階建てビルの16階全て、17階及び、24階の一部を仮ビルとして使用し、本プロジェクトは16階の一部(面積376㎡)を使用する予定である。また、24階のセミナー室(3~4室で共用施設)も必要に応じて使用する予定である。仮ビルへの移転は、現在のビル取り壊しのタイミングと合わせ10月に予定している。調査員は、この仮ビルの資料を入手した(添付資料2参照)。

タイ側より、仮ビルはDIPの予算で賃借することとなる、との説明がなされた。また、プロジェクト実施機関がMOI直轄の非営利団体となった場合には、MOIがプロジェクトに対してMOIビル内に十分なスペースを確保することを確認しミニッツに記載した。

### (3) ローカルコストの負担

調査員はタイ側の予算案について、予算元を確認するとともに、プロジェクトの事業費、管理費、人件費等の実行予算を取りつけ、ミニッツに記載した。供与機材以外のタイ側の機材予算措置を確認した。

調査員は、タイ側よりTMDPCの本年度(1992年10月~1993年9月)予算は2,200万バーツであるが、来年度(1993年10月~1994年9月)予算は、2,800万バーツに増加する旨、説明を受けた。このうち、おおよそ1,000万バーツが本プロジェクトの予算である。

来年度の予算要求は、8月17日に議会の予算委員会を通過し、9月上旬に予定されている議会の本会議で承認を受ける予定である。

### (4) セミナーの開催

調査員は、タイ側より要請のあったセミナーの開催について聴取した。その結果、本セミナーはプロジェクトの枠組みの中でのセミナーである、との説明がタイ側よりなされた。その結果、タイ側が正確に理解していることを確認し、セミナー開催をミニッツに記載した。

## 2. 日本側実施体制

### (1) 専門家派遣

#### a. 長期専門家

調査員は、長期専門家の派遣は5名とし、長期専門家でカバーできない分野は、短期専門



家で補完する旨、タイ側に伝え、ミニッツに記載した。

#### b. 短期専門家

プロジェクトの実施状況に応じ適宜派遣することで了解を得、ミニッツに記載した。

#### (2) 研修員受入れ

タイ側より研修員受入れ人数増の要請がなされたため、年間受入れ人数を6名程度と提案した。ミニッツには人数を記述せずに、日本側が増加を考慮中である、と記載した。

#### (3) 機材供与

本年度供与分と、新ビルに移動後に供与する分を仕分けした機材リストをタイ側に提出し、了解を得た。

### 3. 技術移転内容

技術移転内容についてタイ側より了解を取りつけた。タイ側より移転内容について、生産性促進普及、及び調査では促進普及にキャンペーンを、生産性向上コンサルタント技術ではTQCを、生産性測定では付加価値分析だけではなく生産性分析を、それぞれ追加するよう要請がなされたため、調査員はこれを了解し、ミニッツに追加記載した。

### 4. 実施協議調査団の派遣

日本側は10月派遣を希望したが、タイ側より、11月に受け入れたい、との回答がなされた。

### 5. その他

(1) 上記内容をまとめたR/D案、TSI案、TCP案を作成し、タイ側の了解を得、ミニッツに記載した。

(2) タイ側より長期専門家の2名追加、及び研修員受入れ人数の増加について強い要請がなされた。調査員は、9月10日までに日本側に対し書簡にて要請内容を提出するよう伝え、タイ側はこれを了解した。この件をミニッツに記載した。

本件に関し、調査員は長期専門家の補えない分野は短期専門家で補完すること、研修員の増加は6名以上認められないこと、を説明した。

さらに、タイ側が9月10日までに書簡で上記要請を日本側に提出しても、その要請が受け入れられる保証はない旨、タイ側に伝え、了解を得た。



(添 付 資 料)

1. ミニッツ
2. 仮ビル(BOONPONG TOWER)関連資料
  - (1) 地 図
  - (2) フロア見取図
  - (3) PRICE LIST



1. ミ ニ ッ ツ

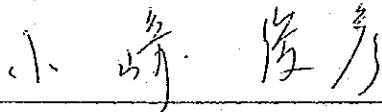
MINUTES OF DISCUSSIONS  
ON  
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
THE PRODUCTIVITY DEVELOPMENT PROJECT IN  
THE KINGDOM OF THAILAND

The Japanese Expert Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japanese International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Toshihiko Kosaki, Counsellor, Japan Productivity Center, visited the Kingdom of Thailand from August 11 to August 24, 1993, for the purpose of clarifying the present situation on the mutual efforts towards the successful implementation of the Productivity Development Project in the Kingdom of Thailand (hereinafter referred to as "the Project").

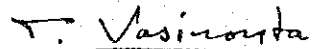
During its stay in Thailand, the Team exchanged views and had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of Thailand (hereinafter referred to as "the Thai side").

As a result of the discussions, both sides came to understanding concerning the matters referred to in the document attached herewith.

Bangkok, August 23, 1993



Mr. Toshihiko Kosaki  
Leader,  
Expert Survey Team,  
Japan International Cooperation Agency,  
Japan



Mr. Thamnu Vasinonta  
Deputy Director General,  
Acting Director General,  
Department of Industrial Promotion,  
Ministry of Industry,  
The Kingdom of Thailand

## The Attached Document

### 1. Organization Set-up

The Thai side submitted to the Team the name list of Thai counterparts as shown in Appendix II.

### 2. Organization of Implementing Agency of the Project

The Thai side stated that the Implementing Agency, which is now under TMDPC, would be under the Department of Industrial Promotion, Ministry of Industry, which the Team has confirmed.

The Organization Chart of the Implementing Agency is shown in Appendix III.

However, during the term of the project, the Implementing Agency may be changed to another agency assigned by Ministry of Industry (MOI), which shall be under MOI at any event.

### 3. Securing of Building and Facilities for the Project

The Thai side said that they would be able to secure enough space for the smooth implementation of the Project, particularly that for the Japanese long-term experts, conference rooms as well as the equipment and materials to be provided by the Government of Japan.

The Thai side also said that TMDPC, as the Implementing Agency of the Project, would be housed in the new 6-story building at the Department of Industrial Promotion. During the construction period, TMDPC will be housed in one of the commercial buildings as shown in ANNEX V.

Ministry of Industry will provide suitable space in the case that another agency is assigned as the Implementing Agency.

### 4. Local Costs

The Team confirmed the source of the budget and obtained the actual implementation budget for the Project as shown in Appendix IV. The Team also confirmed that the Thai side would provide equipment and materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA.

## 5. Provision of Equipment and Materials

The Team explained to the Thai side that on account of space unavailability for the Project until a new building is constructed, the Government of Japan will provide such items of equipment and materials as shown in Appendix V to the Project for fiscal 1993, which the Thai side agreed.

The team stated that the remaining items of equipment and materials selected from Appendix VI would be provided to the Thai side when the Project is housed in the new building with enough space.

Selection of equipment and materials will be made by the Japanese Government within the limits of the budget. All equipment and materials so selected will be completely installed before the end of the Project.

## 6. Training of Thai Counterpart Personnel in Japan

As there was a request made by the Thai side as to the increase in the number of counterpart personnel to be accepted for training in Japan each year during the term of the Project, the Team explained that the Japanese side was considering the increase of Thai counterpart personnel each year.

## 7. Organizing Seminars in Thailand

The Thai side requested that they would like to organize seminars in Thailand within the framework of the Project.

## 8. Dispatch of Japanese Short-Term Experts

Both sides came to an agreement that short-term experts would be sent when necessity arises.

## 9. Scope and Technical Cooperation Program

Both sides agreed that the following areas would be an overall scope of Technical Cooperation Program for the Project. Both sides also came to an agreement that details of the Program would be worked out between Japanese experts and Thai counterparts.



- 1) Human Resource Development and Labor-Management Relations
  - ① Human Resource Development
    - a) Managerial and Supervisory Development
    - b) Functional Human Resource Development
  - ② Labor-Management Relations
    - a) Labor-Management Relations with emphasis on Quality of Work Life
    - b) Labor-Management Consultation System
  
- 2) Productivity Promotion and Survey
  - ① Promotion and Campaign
    - a) Development of Training and Educational Manuals
    - b) Development of Audio-Visual Materials
  - ② Survey
    - a) Survey on Productivity Consciousness and/or Awareness
    - b) Survey on Managerial Behavior
  
- 3) Consulting Skills for Productivity Development
  - ① Productivity Improvement Techniques
    - a) IE, QC, 5S, TPM, TQC, etc.
    - b) Total Productivity Approach for SMEs
  - ② Productivity Measurement
    - a) Value Added and Productivity Analysis
    - b) Gain Sharing

10. Acceptance of the Japanese Implementation Survey Team

The Thai side expressed that it was possible for them to accept the Japanese Implementation Survey Team in November, 1993.

11. Preparation of the Draft of the Record of Discussions for the Project

Both sides prepared jointly the draft of the Record of Discussions for the Project as shown in Appendix I.

12. Others

(1) The Thai side strongly requested the further increase in the number of Japanese long-term experts and the number of counterparts who will receive training in Japan. The Team said that the Thai side should send to the Japanese side a letter of the above request with enough evidence justifying

the increase not later than September 10, 1993.

13. Attendants of the Discussions

The attendants of the discussions are shown in Appendix VII.

後

42

THE RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN  
THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM  
AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF  
THE GOVERNMENT OF THE KINGDOM OF THAILAND ON  
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR THE PRODUCTIVITY DEVELOPMENT PROJECT

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred as to "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by \_\_\_\_\_ visited the Kingdom of Thailand from \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_, 1993 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Productivity Development Project in the Kingdom of Thailand.

During its stay in the Kingdom of Thailand, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Thai authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result of the discussions, the Team and the Thai authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Bangkok, November \_\_\_\_\_, 1993

---

Mr.  
Leader,  
Implementation Survey Team,  
Japan International Cooperation Agency,  
Japan

---

Mr. Manas Sooksmarn  
Director General  
Department of Industrial Promotion  
Ministry of Industry,  
The Kingdom of Thailand

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of the Kingdom of Thailand will implement the Productivity Development Project (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through JICA according to the normal procedures of under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERT

The Government of Japan will provide services of the Japanese experts as listed in Annex II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The Government of Japan will provide machinery, equipment and the other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III. The Equipment will become the property of the Government of the Kingdom of Thailand upon being delivered C.I.F. to the Thai authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

3. TRAINING OF THAI PERSONNEL IN JAPAN

The Government of Japan will receive the Thai personnel connected with the Project for technical training in Japan.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE KINGDOM OF THAILAND

1. The Government of the Kingdom of Thailand will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through the full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.

2. The Government of the Kingdom of Thailand will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Thai nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Kingdom of Thailand .
3. The Government of the Kingdom of Thailand will grant in the Kingdom of Thailand privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families no less favorable than those accorded to experts of third countries working in the Kingdom of Thailand under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.
4. The Government of the Kingdom of Thailand will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex II.
5. The Government of the Kingdom of Thailand will take necessary measures to ensure that knowledge and experiences acquired by the Thai personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in the Kingdom of Thailand, the Government of the Kingdom of Thailand will take necessary measures to provide at its own expense:
  - (1) Services of the Thai counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex IV;
  - (2) Land, buildings and facilities as listed in Annex V;
  - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided through JICA under II-2 above;
  - (4) Means of transport and travel allowances for the Japanese experts for official travel within the Kingdom of Thailand;
  - (5) Suitably furnished accommodation for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the laws and regulations in force in the Kingdom of Thailand, the Government of the Kingdom of Thailand will take necessary measures to meet:

- (1) Expenses necessary for the transportation within the Kingdom of Thailand of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
- (2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in the Kingdom of Thailand on the Equipment referred to in II-2 above;
- (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

#### IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Director-General of the Department of Industrial Promotion, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project. (Appendix III).
2. The Director of the Implementing Agency, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project. (Appendix III).
3. The Japanese Team Leader (Chief Advisor) will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Thai counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex VI.

#### V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Thai authorities concerned, (at the middle and) during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

#### VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Kingdom of Thailand undertakes to bear claims, if any arises,

against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Kingdom of Thailand except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

#### VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

#### VIII. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this attached Document will be five (5) years from November , 1993.

後

## ANNEX I. MASTER PLAN

### 1. Objective of the Project

The objective of the Project is to upgrade and strengthen the Implementing Agency in the area of productivity development activities through transfer of appropriate technology related to productivity development from Japanese experts to Thai counterpart personnel so as to enable them to carry out the activities of the Project.

### 2. Outputs and Activities of the Project

(1) The Thai counterpart personnel are trained through the following activities

To transfer the Japanese expertise on management technologies for productivity development in Thailand, and to implement practical training in the following fields:

#### 1) Human Resource Development and Labor-Management Relations

##### ① Human Resource Development

- a) Managerial and Supervisory Development
- b) Functional Human Resource Development

##### ② Labor-Management Relations

- a) Labor-Management Relations with emphasis on Quality of Work Life
- b) Labor-Management Consultation System

#### 2) Productivity Promotion and Survey

##### ① Promotion and Campaign

- a) Development of Training and Educational Manuals
- b) Development of Audio-Visual Materials

##### ② Survey

- a) Survey on Productivity Consciousness and/or Awareness
- b) Survey on Managerial Behavior

#### 3) Consulting Skills for Productivity

##### ① Productivity Improvement Techniques

- a) IE, QC, 5S, TPM, TQC, etc.
- b) Total Productivity Approach for SMEs

##### ② Productivity Measurement



- a) Value Added and Productivity Analysis
- b) Gain Sharing

(2) Provision of equipment and materials

3. Japanese Technical Cooperation

The Government of Japan will assist the Government of the Kingdom of Thailand in carrying out the activities for obtaining the outputs, which are described in paragraph 2 above.

後

1/1

## ANNEX II. JAPANESE EXPERTS

### 1. Fields

- (1) Human Resource Development and Labor-Management Relations
- (2) Productivity Promotion and Survey
- (3) Consulting Skills for Productivity

### 2. Experts

#### (1) Long-term experts

- a. Chief Advisor
- b. Coordinator
- c. Human Resource Development and Labor-Management Relations
- d. Productivity Promotion and Survey
- e. Consulting Skills for Productivity

#### (2) Short-term Experts

Short-term experts will be dispatched for specific fields of technology transfer, and for the installation of machinery and equipment and training of technical personnel in relation to the scope of the Project, when necessity arises.

後

1/1

ANNEX III. LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

Machinery and equipment necessary for:

- (1) Seminar Rooms
- (2) Meeting Rooms
- (3) Production and editing A/V aids
- (4) Production of training materials
- (5) Office use at project site
- (6) A/V library
- (7) Literature library
- (8) Language laboratory
- (9) Transportation
- (10) Spare parts for maintenance
- (11) Teaching materials developed in Japan
- (12) Mobile training/consulting teams
- (13) Exhibition hall
- (14) Micro teaching room

後

ANNEX IV. TENTATIVE SCHEDULE OF STAFF ALLOCATION

Year	1994	1995	1996	1997	1998
The Project Staff					
Director	1	1	1	1	1
Administrative Staff	10	10	10	10	10
Services Staff	5	5	5	5	5
Secretary & Temporary Staff	5	5	5	5	5
Technical Staff (Consultants, Engineers, Trainers)	20	30	35	40	40
Total	41	51	56	61	61

Name List of Counterparts for Long Term Experts (Tentative)  
(Master & Bachelor Degrees)

- I.
  1. Mrs. Manussawee Dhadasih
  2. Mr. Pracha Klinklao
  3. Mr. Surasit Tatiyapantaruk
  4. Miss Pakprink Kasempantai
  
- II.
  1. Mrs. Boonchua Wongkasem
  2. Mrs. Pornchan Shantavasinkul
  3. Mrs. Patima Peungkaitpairote
  
- III.
  1. Mr. Anan Imsomboon
  2. Miss Rattanaporn Lairat
  3. New Technician will be recruited
  4. New Technician will be recruited
  5. New Technician will be recruited

後

5/3

## ANNEX V. LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

### 1. Site for the Project

Before the Implementing Agency is moved to the new building, the site for the Project is as follows:

16th floor, Boon Pong Tower, 1193 Phahon Yothin Road, Phyathai, Bangkok 1044 with an area of 376 m<sup>2</sup>.

Additional space will be provided, if necessity arises.

### 2. Land, Building and Facilities for the Project

- (1) Office rooms and facilities necessary for the Japanese experts
- (2) Office space for the Thai counterpart personnel
- (3) Lecture rooms and meeting rooms needed for the transfer of technology
- (4) Buildings, facilities and space for the machinery and equipment to be provided by the Government of Japan
- (5) Other facilities mutually agreed upon for the smooth implementation of the Project

## ANNEX VI. THE JOINT COORDINATING COMMITTEE

### 1. Function

The joint coordinating committee will be held at least once a year and whenever necessity arises. Its functions are:

- (1) To formulate the Annual Work Plan of the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation formulated under the framework of the Record of Discussions;
- (2) To review the overall progress of the Technical Cooperation Program as well as the achievements of the above mentioned Annual Work Plan; and,
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the Technical Cooperation Program.

### 2. Organization

#### (1) Chairman

Director General of DIP

#### (2) Members

##### 1) The Thai side

- ① Deputy Director General, DIP
- ② Director, TMDPC
- ③ Director of Planning Division, DIP
- ④ Chief of Productivity Promotion Sub-Division, TMDPC
- ⑤ Representative of DTEC

##### 2) The Japanese side

- ① Chief Advisor
- ② Coordinator
- ③ Other experts, if necessary
- ④ Resident Representative, Thai Office, JICA
- ⑤ The personnel concerned to be dispatched by JICA, if necessary

#### (3) Observer

- ① Officials of the Embassy of Japan in the Kingdom of Thailand

15

11

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION OF  
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR  
THE PRODUCTIVITY DEVELOPMENT PROJECT IN  
THE KINGDOM OF THAILAND

The Japanese Implementation Survey Team and the Authorities concerned of the Government of the Kingdom of Thailand have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation and Technical Cooperation Program of the Productivity Development Project in the Kingdom of Thailand (hereinafter referred to as "the Project") as annexed hereto.

These documents have been formulated in connection with the Article I.2 of the Attached Document of the Record of Discussions signed among the Japanese Implementation Survey Team, Department of Industrial Promotion, Ministry of Industry of the Kingdom of Thailand on condition that the necessary budget be allocated for the implementation of the Project by both sides and that the schedule is subject to change within the framework of the Record of Discussions when necessity arises in the course of the implementation of the Project.

Bangkok, November , 1993

---

Mr.  
Leader,  
Implementation Survey Team,  
Japan International Cooperation Agency,  
Japan

---

Mr. Manas Sooksmarn  
Director General  
Department of Industrial  
Promotion,  
Ministry of Industry,  
The Kingdom of Thailand

ANNEX-A TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION FOR THE PROJECT

Calendar Year	92	1993				1994				1995				1996				1997				1998					
Japanese Fiscal Year	1992		1993				1994				1995				1996				1997				1998				
	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
Tera of Technical Cooperation																											
<u>Japanese Side</u>																											
I. Dispatch of Survey Team																											
(1) Preliminary																											
(2) Experts Survey																											
(3) Implementation																											
(4) Consultation																											
(5) Technical Guidance																											
(6) Consultation																											
(7) Technical Guidance																											
(8) Evaluation																											
II. Dispatch of Long-term Experts																											
(1) Chief Advisor																											
(2) Coordinator																											
(3) I&D I&R																											
(4) Productivity Promotion & Survey																											
(5) Consulting Skills for Productivity Development																											
III. Dispatch of Short-term Experts																											
( short-term experts on specific fields may be dispatched, if necessary )																											
IV. Training of Counterpart Personnel in Japan																											
( appropriate number of counterpart personnel may be acceptable annually )																											
V. Provision of Machinery and Equipment																											
<u>Thai Side</u>																											
I. Sites and Facilities																											
II. Buildings and Land																											
III. Machinery and Equipment																											
IV. Budgetary Allocation																											
V. Allocation of Counterpart Personnel and Staff																											

Note : 1. The Japanese fiscal year starts in April and ends in March.  
 2. This schedule is subject to change in accordance with the progress of the Project.  
 3. \* : Experts may be changed during the cooperation period.

後

後



ANNEX-B TECHNICAL COOPERATION PROGRAM

Calendar Year	1993				1994				1995				1996				1997				1998							
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV				
Japanese fiscal Year																												
Term of the Project																												
1. Human Resource Development (HRD) and Labor-Management Relations (LMR)																												
① HRD																												
a) Managerial and Supervisory Development																												
b) Functional HRD																												
② LMR																												
a) Labor-Management Relations with emphasis on Quality of Work Life (QWL)																												
b) Labor-Management Consultation System																												
2. Productivity Promotion and Survey																												
① Promotion and Campaign																												
a) Development of Training and Educational Manuals																												
b) Development of Audio-Visual Materials																												
② Survey																												
a) Survey on Productivity Consciousness and/or Awareness																												
b) Survey on Managerial Behavior																												
3. Consulting Skills for Productivity Development																												
① Productivity Improvement Techniques																												
a) IE, QC, 5S, TPM, TQC, etc.																												
b) Total Productivity Approach for SMEs																												
② Productivity Measurement																												
a) Value Added and Productivity Analysis																												
b) Gain Sharing																												

後

後

ANNEX - C Annual Work Plan (From November 1993 to March 1994)

Calendar Year		1993			1994		
Japanese Fiscal Year		November	December	January	February	March	
Month	Japanese Side						
I.	Dispatch of Survey Team						
(1)	Consultation						
II.	Dispatch of Long-Term Experts						
(1)	Chief Advisor			○			
(2)	Coordinator			○			
(3)	PRD & LMR			○			
(4)	Productivity Promotion and Survey Skills for Productivity Development			○			
(5)	Consulting Skills for Productivity Development			○			
III.	Dispatch of Short-term Experts						
IV.	Training of Counterpart Personnel in Japan						
V.	Provision of Machinery and Equipment						
	<u>Thai Side</u>						
I.	Space and Facilities	○					
II.	Building and Land	○					
III.	Machinery and Equipment	○					
IV.	Budgetary Allocation	○					
V.	Allocation of Counterpart Personnel and Staff	○					
V.	Submission of the documents						
(1)	A-1 Forms for experts	○					
(2)	A-2, 3 Forms for Counterpart Training in Japan	○					
(3)	A-4 Forms for the Equipment	○					

Note: 1. The Japanese fiscal year starts in April and ends in March.  
 2. This schedule is subject to change in accordance with the progress of the Project

後

1/1

Appendix II. Name List of Thai Counterpart Personnel

I. Consulting Skills

1. Mrs. Manussawee Dhadasih
2. Mr. Pracha Klinklao
3. Mr. Surasit Tatiyapantaruk
4. Miss Pakprink Kasempantai

II. HRD and LMR

1. Mrs. Boonchua Wongkasem
2. Mrs. Pornchan Shantavasinkul
3. Mrs. Patima Peungkaitpairote

III. Promotion and Survey

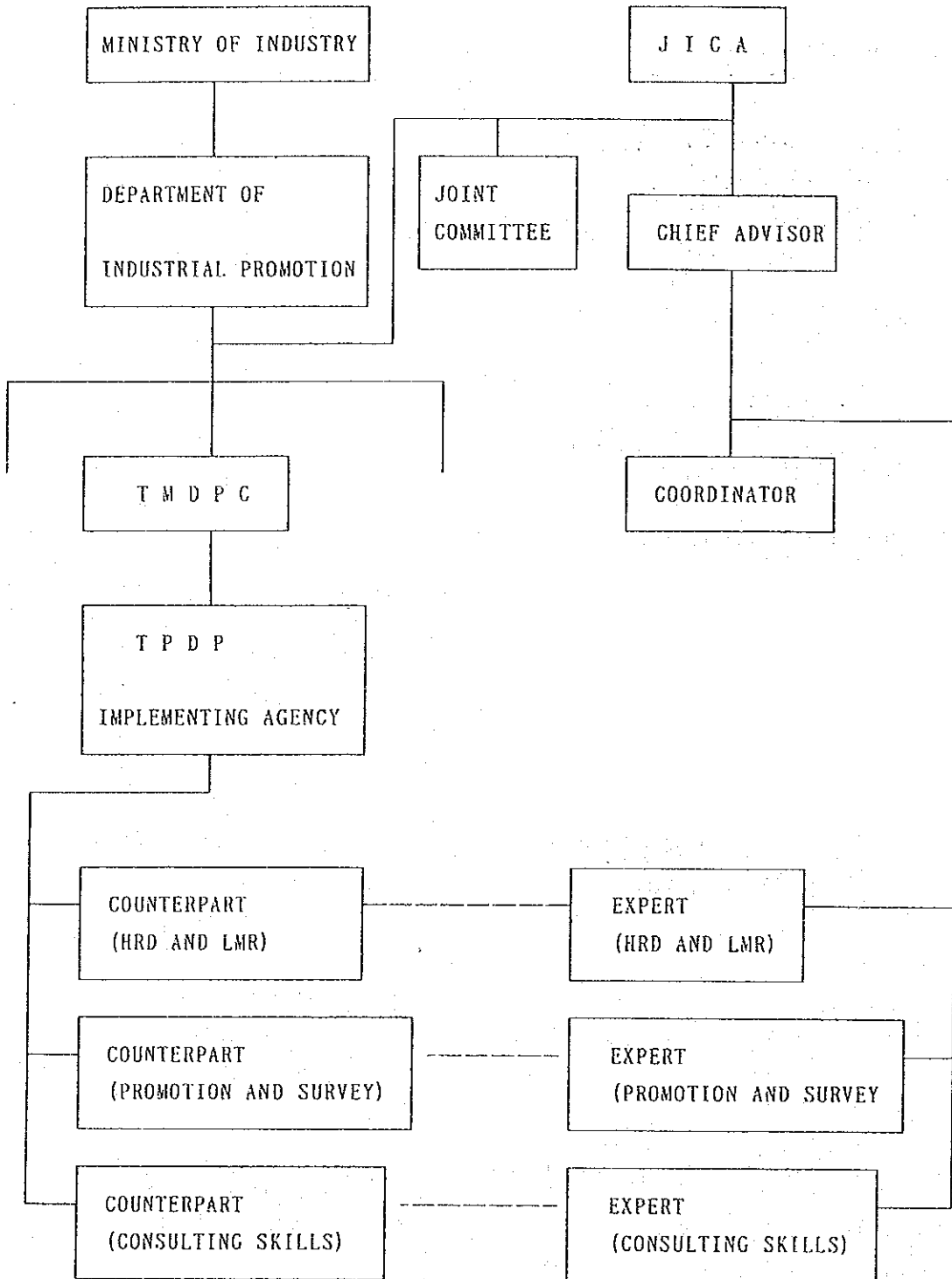
1. Mr. Anan Imsomboon
2. Miss Rattanaorn Lairat
3. Three Technicians to be recruited

Note: The above list is subject to change according to the development of the Project.

後

後

Appendix III. ORGANIZATION CHART OF THE PROJECT



Note: This organization chart is subject to change according to the development of the Project.

後

5/1

## Appendix IV TENTATIVE SCHEDULE OF BUDGET ALLOCATION

( Unit:Million Baht )

Year	T P D P					
	1994	1995	1996	1997	1998	Total
Staff Charges	5.8	7.5	8.6	9.5	10.0	41.4
Operating Expenses	4.0	6.0	8.0	10.0	12.0	40.0
Equipment Maintenance	0.4	0.7	1.2	1.4	1.7	5.4
Utilities and Others	0.6	0.9	1.4	1.7	2.0	6.6
Total Annual Budget	10.8	15.1	19.2	22.6	25.7	93.4

後

A.

Appendix V. List of Equipment and Materials for Fiscal 1993

EQUIPMENT LIST

ITEM	MODEL NAME	DESCRIPTION	Q'TY
<FIELD PRODUCTION SYSTEM>			
1-1	DXC-537PK	2/3-INCH 3-CCD COLOR CAMERA W/VF, X16 LENS, PAL	2 SETS
1-2	PVV-1P	BETACAM SP RECORDER UNIT FOR COMBO OPERATION PAL	2 SETS
1-3	DC-520	BATTERY CASE FOR NP-18X2	2 PCS
1-4	CCOX-3	CAMERA CONNECTING CABLE FOR EXT DC INPUT, 3M	2 ROLLS
1-7	CMA-8ACE	AC ADAPTOR FOR FOR CAMERA & RECORDER UNIT	2 SETS
2-1	SBT-20M	VIDEO CASSETTE TAPE FOR 8-CAM SP B&I CLASS 20M	100 PCS
3-1	PVM-6041QM	6-INCH COLOR MONITOR 4 STANDARDS 220	2 SETS
3-2	VF-504	VIEWING FOOD FOR PVM-6041QM	2 SETS
3-3	NP-18	RECHARGEABLE BATTERY PACK FOR PVM-6041QM	20 PCS
3-4	BC-410CE	BATTERY CHARGER FOR SP-90A & NP-18	2 SETS
5	LIBEC70SD	TRIPOD/DOLLY/CARRYING BAG SPREADER	2 SETS
6-1	ECM-77B	ELECTRET CONDENSER MIC. LAVALIER TYPE BLACK	2 PCS
6-2	MKH-416	CONDENSER MICROPHONE SUPER UNIDIRECTIONAL	1 SET
6-3	MO-211	DYNAMIC MICROPHONE OMNIDIRECTIONAL	1 PC

EQUIPMENT LIST

ITEM	MODEL NAME	DESCRIPTION	Q'TY
6-4	F-115	DYNAMIC MICROPHONE OMNIDIRECTIONAL	1 PC
6-5	*****	MICROPHONE CABLES	1 LOT
6-6	AM3	SPARE BATTERIES FOR ECM-77B (1 PACK/4 PCS)	10 PACK
6-7	7MR9	BATTERY FOR C-74	10 PCS
7-1	CAT-KIT-4	PORTABLE LIGHTING KIT WITHOUT LAMP	1 SET
7-2	B8-32	LAMP 230V 800W 10PCS FOR CAT-KIT-3	2 PACK
8-1	250-18	PORTABLE BATTERY LIGHT W/ACC.	1 SET
8-2	L-2580A-2	BELL TYPE BATTERY FOR 250-18 (5 PC/1 PACK)	1 PACK
8-3	L-2580A-1	LAMP 24V 200W 10PCS/PACK FOR 250-18	1 PACK
9	SS-332	SIGMA 3CH COMPACT MIXER W/ CARRYING CASE & CABLES	1 SET
<EDITING SYSTEM>			
1	PVW-2650P	BETACAM SP PLAYER WITH DT FUNCTION PAL	1 SET
2	PVW-2800P	BETACAM SP RECORDER PAL	2 SETS
3	MODEL 5861V	WAVE-FORM MONITOR (PAL) LEADER	1 SET

後

五

EQUIPMENT LIST

<u>ITEM</u>	<u>MODEL NAME</u>	<u>DESCRIPTION</u>	<u>Q'TY</u>
4-1	PVM-2044QM	COLOR VIDEO MONITOR 20-INCH 4-SYSTEM 220V	1 SET
4-2	PVM-1444QM	COLOR VIDEO MONITOR 14-INCH 4-SYSTEM 220V	3 SETS
5-1	BVE-2000	EDITING CONTROL UNIT	1 SET
5-2	BKE-2010	EDITING KEYBOARD	1 SET
5-3	BKE-2031	COLOR FRAMING DETECTOR BOARD PAL	1 SET
5-4	BKE-9500	EDITING CONTROL DISK UNIT	1 SET
5-5	CPD-121	COMPUTER DISPLAY MONITOR FOR BVE-900/9000	1 SET
5-6	*****	CONNECTING CABLES FOR EDITING CONTROL SYSTEM	1 LOT
5-7	MXP-290	8-CHANNEL AUDIO MIXER W/VIDEO EDITOR INTERFACE	1 SET
6	DFS-500P	VIDEO SWITCHER WITH DIGITAL MULTI EFFECT PAL	1 SET
8	VTW-222S	VIDEO TYPE WRITER AC220V (FOR-A)	1 SET
8-2	VTW-300T	VIDEO TYPE WRITER THAI LANGUAGE	1 SET
9	MOP-533D	MULTI DISC PLAYER	1 SET
10	*****	CONSOLE FOR EDITING SYSTEM	1 SET

14  
12

14  
12



EQUIPMENT LIST

ITEM	MODEL NAME	DESCRIPTION	Q'TY
		<AUDIO DUBBING AND SOUND PRODUCTION SYSTEM>	
1	MXP-S390	12-CH ANALOG AUDIO MIXER W/SERIAL REMOTE, 220V	1 SET
1-2	*****	SPEAKER SYSTEM 100W X 2	1 PAIR
1-3	MDR-CD6	DYNAMIC SUPRA-AURAL STEREO HEADPHONE	1 SET
2-1	ECM-530	DESK TOP TYPE MICROPHONE	2 SETS
2-2	ECM-23F3PR	ELECTRET CONDENSER MIC	2 PCS
2-3	*****	FADER UNIT FOR ANNOUNCER	1 SET
3-1	B-305B	MICROPHONE BOOM STAND U-5/16 PF-1/2	1 SET
3-2	B-500	FLOOR STAND FOR MICROPHONE	1 SET
3-3	A-12	TABLE MICROPHONE STAND PF-1/2	1 PC
3-4	SAD-26	MICROPHONE STAND POLE	1 PC
4-1	PVM-2044QM	COLOR VIDEO MONITOR 20-INCH 4-SYSTEM 220V	1 SET
4-2	PVM-9041QM	9 INCH COLOR MONITOR 4 STANDARD AC220V/DC12V	1 SET
5	MX-5050-B III 2	OPEN-REEL RECORDER/PLAYER OTARI	1 SET
6	TC-K333ESL	CASSETTE TAPE RECORDER	1 SET

後

△

EQUIPMENT LIST

ITEM	MODEL NAME	DESCRIPTION	Q'TY
8	CDP-X555ES	COMPACT DISC PLAYER TOP ES MODEL	1 SET
9-1	MU-A200	POWER AMPLIFIER	1 SET
10	.....	AUDIO SYSTEM CONSOLE	1 UNIT
		< DUPLICATION SYSTEM >	
1	PVM-1440QM	COLOR VIDEO MONITOR 14-INCH 4 SYSTEM 220V	1 SET
2	SVO-170P	VHS HI-FI RECORDER/PLAYER PAL	2 SETS
3-1	.....	REFLECTOR BOARD	2 SETS
3-2	.....	POCKET GREY SCALES	2 SETS
3-3(a)	ALPHA 3Xi	STILL CAMERA BODY (MINOLTA)	1 SET
3-3(b)	.....	ZOOM LENS FOR ALPHA-3Xi (AF ZOOM 35"200MM F4.5)	1 SET
3-4	3500Xi	PROGRAMME FLASH (MINOLTA)	1 SET
3-5	.....	TRIPOD FOR STILL CAMERA (SLIK)	1 SET
3-6	.....	AC POWER CABLE DRUM 20M	
3-7	.....	AC POWER CABLE DRUM 10M	1 SET
4	LT-1250	TELEVISION STANDARDS CONVERTER BY OKI	1 SET
5	.....	VHS HIFI PLAYER RECORDER NTSC	1 SET
6	.....	PATCHING BOARD	1 SET
7	.....	ANNOUNCE BOX	1 SET

後

4.

Equipment or Materials	Quantity
Equipment for production of training materials	
High speed copying machine, black and white	2 units
Book binding machine	2 units
Shredding machine	1 unit
Laminating machine	1 unit
Digital stencil duplicator	1 unit
Office equipment for project site	
Desktop computer system	1 unit
Lazer printer, black and white	1 unit
Desktop publishing system	1 unit
Fax machine	1 unit
Notebook computer with printer	3 units
Vehicle	
Wagon	1 unit
Teaching materials developed in Japan	
Productivity consultant training course (for certification)	1 set
Equipment for mobile training/consulting teams	
Overhead projector - portable type	2 units
Video projection system - portable type	2 units
Slide projection system - portable type	2 units

後

Appendix VI. List of Equipment and Materials to be provided to Thai Side  
when a New Building is completed

No.	Equipment or Materials	Quantity
A. Equipment for seminar rooms (50 persons x 3rooms)		
A - 1	Overhead projector with screen	6
2	35mm slide projector	3
3	Video projection system	3
4	Video projection screen - motor drive	3
5	White board - wall type	6
6	Electronic white board with copying function	3
7	Loud speaker system	3
8	Computer-operated display system	3
9	Color TV monitor 48"	3
10	Wireless microphone system	3
11	Slide multivision 12/set	1
12	Ceiling TV monitor 28"	12
13	Cassette tape recorder - stereo	3
14	Laser disc player	3
15	Rack and console for A/V equipment	3
16	Ceiling type color TV camera system	3
17	Tuner-cassette player-compact disc player system	3
B. Equipment for meeting rooms (20 persons x 2 rooms)		
B - 1	Overhead projector with screen	2
2	35mm slide projector	2
3	Video projection system	2
4	Computer-operated display system	2
5	White board with copying function	2
6	White board - wall type	2
7	Color TV monitor 48"	2
8	Open conference system for 20 persons	2
9	Loud speaker system	2
10	Tuner-cassette player-compact disc player system	2
11	Laser disc player	2

後

5/3

No.	Equipment or Materials	Quantity
	C. Office equipment for project site	
C - 1	Desktop computer system	4
2	Laser printer, color	1
3	Laser printer, black and white	2
4	Desktop publishing system	1
5	Japanese word processor	3
6	Copying machine, color	1
7	Copying machine, black and white	4
8	Shredding machine	1
9	Computer software	10
10	Fax machine	1
11	Electric typewriter	5
12	Notebook computer with printer	2
13	Telecommunication system	1
	D. Equipment and materials for A/V library	
D - 1	Video projection system	10
2	Video tapes related to management and productivity	200
3	35mm slide projection system	2
4	35mm slides packages for training	100
5	1/2 video cassette player	10
6	9 inch color video monitor	10
7	Headphone	10
8	Booth	10
9	Moving storage rack system	1
10	Video information system	1
	- ceiling type video monitor	2
	- Video typewriter	1
	- 1/2 inch VHS video player	1
	- Monitor TV	1
	- Select switcher	1
11	Audio tape duplication system	1
	- Audio duplicator	3
	- Cassette tape recorder	10

後

4/1

No.	Equipment or Materials	Quantity
	E. Equipment and materials for literature library	
E - 1	Book storage system for 50,000 books and magazines	1
2	Management and productivity related books from Japan	5,000
3	Management and productivity related books from USA	500
4	Subscription of management related magazines	50
5	Computer-controlled library operating system	1
	F. Equipment for language laboratory	
F - 1	Language laboratory system for 20 students	1
2	Software for learning Japanese	1
3	Software for learning Thai	1
4	Software for learning English	1
	G. Vehicles	
G - 1	Minibus	2
2	Wagons	2
	H. Equipment and spare parts	
H - 1	Necessary equipment and spare parts for maintenance	some
	I. Teaching materials developed in Japan	
I - 1	Top management productivity orientation course	
2	Middle management productivity orientation course	
3	Productivity consultant training course (for certification)	
	J. Equipment for mobile training/consulting teams	
J - 1	Overhead projector - portable type	2
2	Video projection system - portable type	2
3	Slide projection system - portable type	2
4	Computer-operated display system - portable type	2

像

4.

No.	Equipment or Materials	Quantity
	K. Equipment for exhibition hall	
K - 1	Exhibition equipment with multi-screen display system	1
	L. Equipment for micro teaching room	
L - 1	A complete system for micro teaching room	1

Note: The items of the above list is subject to change in consideration of the budget allocation of the Government of Japan.

後

A/c

Appendix VII. List of Attendants of the Discussions

1. The Japanese Side

Mr. Toshihiko Kosaki	Counsellor, Japan Productivity Center
Mr. Shunichi Iwakiri	Section Chief, Technical Coop. Division, Ministry of International Trade and Industry
Mr. Osamu Adachi	Manager, Overseas Technical Cooperation Dept., Japan Productivity Center

2. The Thai Side

Mr. Thamnu Vasinonta	Deputy Director General, Department of Industrial Promotion (DIP)
Mr. Satit Sirirangkamanont	Director, Thailand Management Development and Productivity Center (TMDPC)
Ms. Manussawee Dhadasih	Chief, Productivity Promotion Sub-Division, TMDPC
Mr. Wichai Intiang	Chief, Business Management Sub-Division, TMDPC
Ms. Rattana Samachat	Chief, Administration Sub-Division, TMDPC
Mrs. Nongpan Chayaniyayodhin	Chief, APO Section, TMDPC

3. Advisors

Mr. Kazuo Tsuchiya	JICA Long Term Expert
--------------------	-----------------------

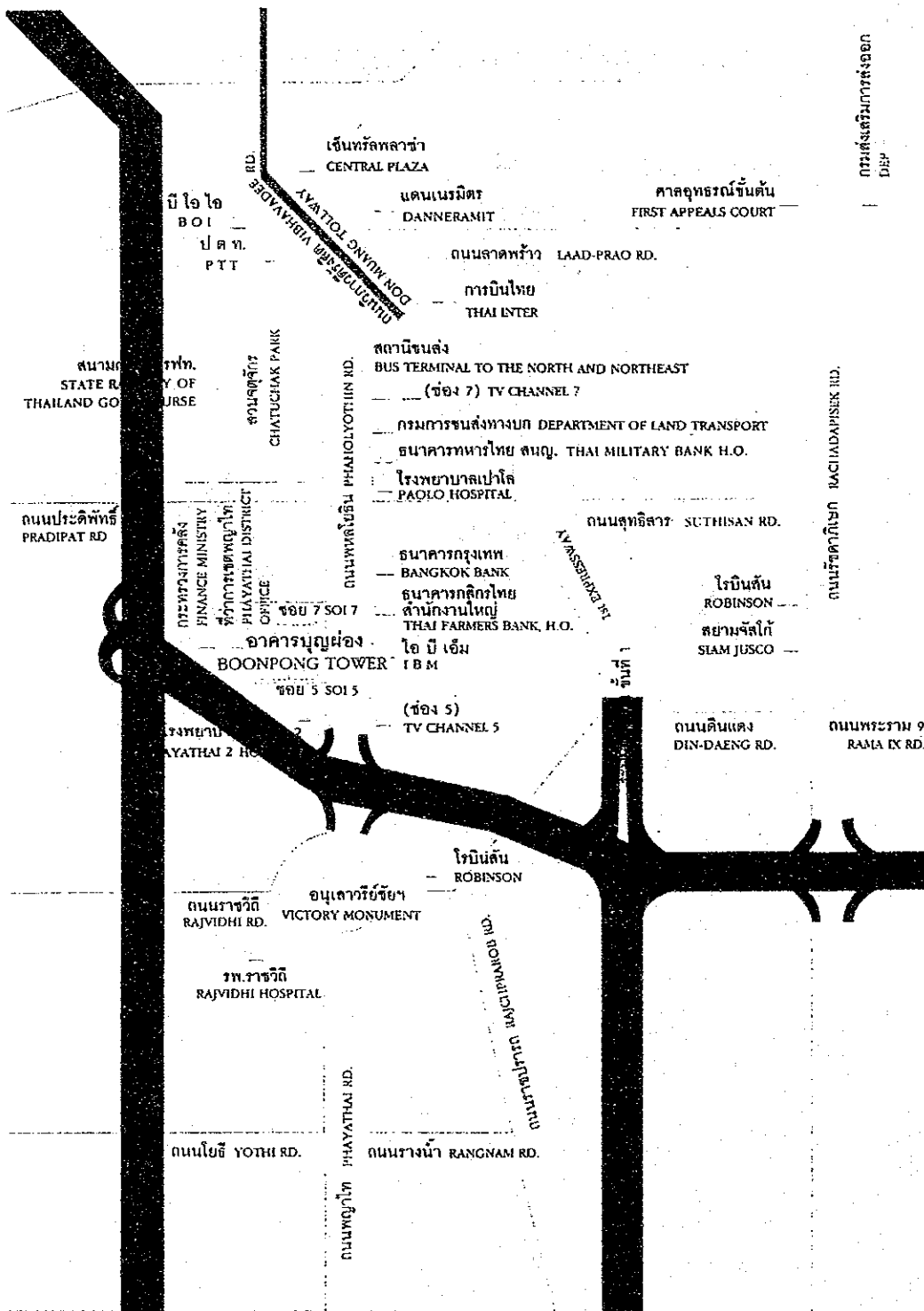
後

5.7

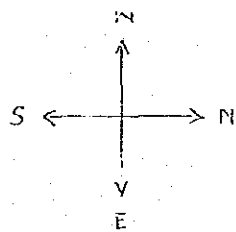
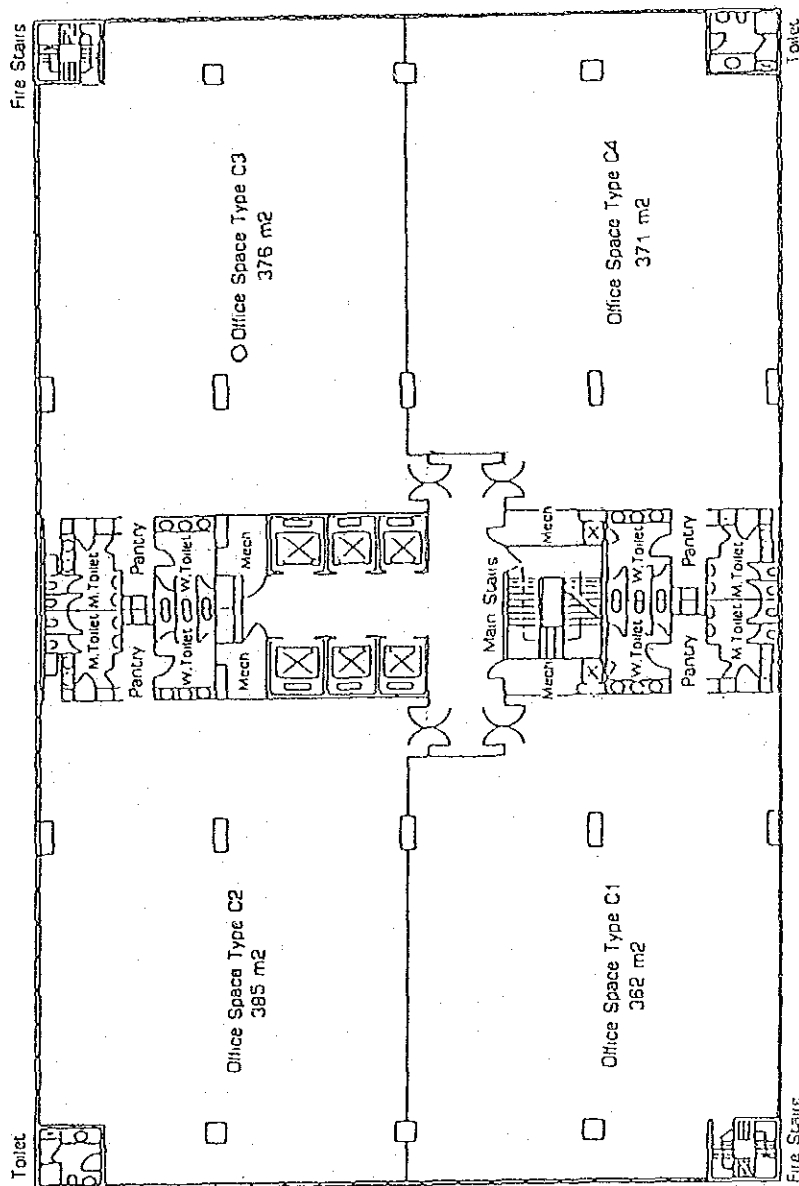


## 2. 仮ビル (BOONPONG TOWER) 関連資料

- (1) 地 図
- (2) フロア見取図
- (3) PRICE LIST



(2) フロア見取図



14h - 24h FLOOR PLAN

(3) PRICE LIST

PRICE LIST  
BOONPONG TOWER

1-SEP-92

Floor	Unit	Area	Price/Sq.m./month		Deposit (3 months)	Advance (1 month)	Facilities	
			(Sq.m.)	3-year contract			Carpark	Telephone
2	L-1	288	950	820,800	273,600	2	4	
	L-2	485	950	1,382,250	460,750	4	8	
11-12	D-1	154	550	254,100	84,700	1	2	
	D-2	158	550	260,700	86,900	1	2	
	D-3	158	550	260,700	86,900	1	2	
	D-4	163	550	268,950	89,650	1	2	
	D-5	154	550	254,100	84,700	1	2	
	D-6	158	550	260,700	86,900	1	2	
	D-7	158	550	260,700	86,900	1	2	
	D-8	163	550	268,950	89,650	1	2	
14-24	C-1	362	500	543,000	181,000	3	6	
	C-2	385	500	577,500	192,500	3	6	
	C-3	376	500	564,000	188,000	3	6	
	C-4	371	500	558,500	185,500	3	6	

Remark :

- 1) Telephone : 2 lines/100 Sq.m. Deposit 30,000 Baht/line & Installation fee 5,000 Baht/line
- 2) Carpark : Free 1 carpark/100 Sq.m. Additional Parking Space at 1,000Baht/Car/Month
- 3) Electricity & Water : Billing according to meter provided for each unit.
- 4) Air Condition System : Centralized Chilled Water Air-Conditioning System will be operated during 07:00 - 18:00 from Monday to Friday. Tenants will be responsible only for the electricity bill from their A.H.U. in each office unit.

\* Above information are subject to change without prior notice. \*



JICA